

第4回 臼杵市議会基本条例特別委員会 会議要旨

日 時 令和2年11月6日(金曜日) 午前10時00分 ~ 午前11時09分
場 所 臼杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 吉岡 勲	副委員長 大塚 州章	
委員 川辺 隆	委員 内藤 康弘	委員 伊藤 淳
委員 梅田 徳男	委員 戸匹 映二	委員 奥田富美子
委員 若林 純一	委員 匹田 郁	

欠席委員の氏名

委員 川辺 隆

説明のため出席した者の職氏名

(な し)

出席した事務局職員の職氏名

局長 東 弘樹 次長 後藤秀隆 書記 高橋悠樹 主査 清水 香

傍聴者

議員 河野 巧 議員 広田精治

会議に付した事件

1. アンケートの集計結果について
 2. その他
-

午前10時00分 開議

1. アンケート集計結果について

吉岡 勲

ただいまから、第4回特別委員会を開催致します。はじめに事務局より本日の資料説明をお願いします。

- ・事務局（高橋）→配付資料（アンケート集計及び前文素案）に基づき説明
- ・大塚州章→配付資料（議員提案政策条例の調査票）に基づき説明

吉岡 勲

本日は、全議員に送付をいたしましたアンケートの結果をもとに協議を行います。

アンケートの項目は、皆さんご承知のとおり、「議会の現状と課題」、「議会基本条例に求めること」であり、本日の議論が前文検討の基礎になる事を念頭に、協議のほどよろしくお願いします。

それでは、次第のとおりアンケートの集計結果について、協議に入ります。

まず、アンケート項目①の「条例の必要性」に関する回答結果について、委員皆さんから何かありますか。

（ な し ）

大塚州章

提案者の議長と委員長を除いた16名の結果、これを見ると、もう皆さん条例が必要だという認識でよろしいでしょうか。

（ 「はい」の声 ）

吉岡 勲

次に、アンケート項目②「議会の現状と課題」について協議に入ります。

（資料の1番から、委員を指名して順番に回答を読んでもらう。）

皆さんから何かご意見等ありましたら、フリートークでいきたいと思えます。

若林純一

これら回答に出た課題をどう解決していくかが求められる。そういう内容の条例を作ることが求められるだろうなというふうに思っています。

ただ、今のままで十分であるとかっていう、そういう視点の回答があんまりないのがちょっと気にはなるんですけど。出してない方がどう思われているかということには、ちょっと疑義はありますけど。

戸匹映二

内容は、その通りだというものもたくさんあると思えます。これをどうまとめて、みんなの共通意識として今後取り組んでいくかっていうところをもうちょっと詰め考えていかなきゃいけない。一つ一つ抑えていくほうがいいと思えました。

伊藤 淳

現状と課題ということであれば、もうこの通りだと思います。

内藤康弘

特に意見はありません。

梅田徳男

いろんなご意見があって、取りまとめるという話になっていますけど、同じような表現、内容のものがありますんで、これを1つの課題という形で整理をして、その課題への対応という形で条例に反映させていけばというふうに思います。

奥田富美子

アンケートを取ることによって、皆さんが抱えている課題と、思っていたことが洗い出されてとてもよかったと思います。これを条例に生かしていけばいいんだと思います。

匹田 郁

私も皆さんと一緒に、最後はこの課題をどういうふうに整理していくのか。

それが議会改革の基本的なところであり、条例化に向けての大切な一歩だと思いますので、この課題をみんなで議論していければと思います。

吉岡 勲

予算がどうしても伴うもの、予算がつかなくても議員として条例を作って努力するもの、目指すものが出てくると思います。そういうものを含めて、これからもう少し突っ込んでいきたいと思っております。

大塚州章

議会というのは皆さんで、一緒に作るもんだなと思いました。そのためには個々の技術・能力とか、それを磨かなきゃいけない。やっぱり議員間の討論の場が本当に必要だなと。これについては、共同歩調で皆さんでやりましょうというのが今回の条例のきっかけになるのかなというふうに思っています。その辺のところを1回整理をして、この前文の案に照らし合わせて、ちょっと整理作業を。正副委員長と事務局に1回任せてもらっていいですかね。

それとも皆さんでこれを照らし合わせていったほうがいいか、その辺いかがでしょうか。

若林純一

ちょっと問われている意味がよくわからない。すいません、もう一度お願いします。

大塚州章

これの整備をしなきゃいけないという意見が出たんで、こちらサイドで整備の作業を1回してみてもいいのか、それとも、その作業も皆さんと一緒にしたほうがいいのか、皆さんにお伺いしているところです。

吉岡 勲

順番にご意見をどうぞ。

若林純一

このアンケート結果をもって前文をどうこうというよりも、このアンケートの結果に、例えば市民の意見収集、政策立案提言への取り組み、議員研修などが不十分、と書いてありますけど、これは1人の意見なんですけど、これについて全員の方が不十分だと思っているんですかっていうところを議論しないと。

そこをやっぱり意識の統一をしていって、例えばICTについてもそうだし、例えば、ある項目については、私はこういう現状でいいと思いますよってという意見があれば、そこで意見を交わさないと。各人から出たバラバラの考え方を、全部網羅して何かをつくり上げるってのはなかなか難しいので、一つずつ十分なのか不十分なのか、十分じゃないとすれば何が不十分なのかっていうところを、ちょっと深掘りしないと前文にはちょっとたどりつかない。

戸匹映二

その深掘りをするための、たたき台を作るっていう意味で、事務局とかでそういう資料を作っていただくのであれば、それはそれでいい。

やり方の問題で、たたき台じゃなくて、そっからまだ先に進めるような形じゃなくて間にちょっと議論を入れる資料として作っていただくのであればいいと思います。

伊藤 淳

課題が混ざって入ってきているので、まず課題ごとに集約をして1つずつ深掘りをしていくというのも一つかなというふうに思います。

内藤康弘

確認ですけど、この現状と課題の部分で前文を作るという理解でいいんですよね。

であれば1個ずつどうこうというのは、なかなか時間かかると思うんで。

だから1回前文はこれを参考に、たたき台を作ってください、今ここに2つあるんですけど。それに沿う部分があればこれでもいいし、さっき大塚副委員長が言ったようにでも、それも構いません。1個ずつするのであれば、ちょっと時間がかかります。

梅田徳男

もともとそのたたき台をもらった段階で、自分なりに検討するうえで今の白杵の現状がどうだとかいうことを、このアンケートと同じように自分で作って今何が必要かということ、たたき台に反映させて提出をしています。

もう一つは、この課題っていうやつの中に議会の課題と議員の課題もあるわけです。そういうことも含めて、その課題を条例に反映するなら別で、整理をしていただいて、整理する段階で議論することは大いに構わないけども、そこをしっかりと上で、まず条文整理が先だと思います。条文整理をして行かないと、前文ができないと思います。

前文を最後に、本当に条文がこれで間違いないという所から前文の整理を始めれば、きちんとした前文ができると思う。

そういう意味では課題整理をして、議員なり議会なりの課題をしっかりと把握した上で、それに対応する条例を作っていく、整理していくという流れを作っていたほうが、前に進む。

奥田富美子

出された回答のところ、違和感があるところは個別に深めていったらいいというふうに思うのと、それと前文に関してはどっちが先の議論でもいいかと思うんですが。私が出している案は、先進的のところを少しまとめられそうな、いいところばかりを取り出したつもりなんですが、皆さんから出されているアンケートの中の課題は、ほぼ網羅されているのかなというふうに思います。あとは確かに引いたり足せばいいし、先進的のところは白杵市に当てはめても、そんなに困らないかと思っています。

梅田徳男

前回の委員会でも説明したんですが、私が書いているのは前文案って形で出されていますけども、条例を作るための基本的な考え方をまとめていますんで、この考え方に基づいて条例素案を整理しましたよっていう内容です。ご理解のほど。

匹田 郁

前文はやはり最後に、内容がある程度整理された中で全体像をもって作るべきではないかな。

全体像が出てきたときに、初めてその一番基本的なことを文章化するという形になると思うんで。まず条文を作っていくほうが私は筋だと思し、先ほど大塚副委員長が言った例えば集約して皆さんに提示するというやり方もあるだろうし、他の議員さんの中に、ここはどこに行ったのみたいなことがあるとちょっとまずいのかなという気もしますんで、できればある程度、基本的には皆さんに諮ってやったほうが、結果共通認識とかができるんじゃないかなっていうふうに私は思います。

大塚州章

すみません私の説明不足で、深掘りをするための整理をちょっとしたほうがいいのかなどという気持ちで言いました。申し訳ありませんでした。

そういう意味では1回整理を、1個1個について議会の問題かもしれない、議員の問題かもしれない。これもちょっと整理をして、それから深めたほうが整理がしやすいのかなど。それをもとに条例、全体像をしっかり持って前文を作る。前回は、前文が先のほうがいいんじゃないかなという意見も出ましたが、討論していればいろいろ変わると思います。そこは自由に、柔軟にっていうか変えていきながら、委員長と一緒に作り上げていったらと思うんで。

吉岡 勲

いつまでに作るのかっていう話もあり、当初9月と言いました。今これを作りかかると皆さんの意見をまとめていき大変な作業になることも考えますんで、あくまでも9月を目指していきますが、しっかり深掘りしながら、皆さんに意見を反映してしっかり前進していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

若林純一

基本的にはこのアンケート内容について、対立するようなところはないので、このアンケートの回答について整理をしていただいて、1つずつ深掘りして全体が見えてきた段階でということで、私もよろしいかと思えます。

戸匹映二

皆さんのご意見について、その通りだと思い、同じ思いで進めていきたい。

伊藤 淳

まずテーマごとに集約を、まとめていただいて、1個ずつ深掘りしていきたい。

内藤康弘

私もそれでお願ひします。

梅田徳男

進め方はそういうことで、いいんだろうと思うんですが。期間については1か月に1回とかいう形での委員会の開催では、前に何したか正直言うと覚えていない。

できるだけ必要なときには集中してやるという方向でお願いしたい。

奥田富美子

前にどんなことを話して決まったのか、課題として残ったのかという、記録はどうなってるんですかね。少なくとも前回の記録が、ざっくりあるといいなと思うので、そのあたりの扱いは。進め方は良いです。

大塚州章

事務局と相談しながらまとめていきたいと思います。

(提案) 次回、冒頭説明の調査票を作った内容の時代の資料(パワーポイント)について、合意形成の仕方等、市民にも公開したものを説明。

戸匹映二

委員以外、やはり全員に資料は渡していただいたほうがいいと思いますので、その分をきちんと準備していただきたい。ファイルも用意してお渡ししていただければありがたい。必ずこの特別委員会でやった議事内容、これ各会派で持ち帰って多分説明をしていただくという形になっていると思いますので、ここに出てないメンバーが取り残されないよう形をぜひしっかり取って。全議員でこれは協議しているという形を作っていたきたいなというふうに思います。

吉岡 勲

事務局と相談します。

大塚州章

皆さんの合意形成が基になってということが重要なので、全議員からフィードバックが来て、この委員会の中で合意形成していくのが一番重要だと思います。その辺はまた事務局と相談していきたいと思います。

吉岡 勲

次に、アンケート項目③「議会基本条例に求めること」について協議に入ります。

- ・資料の1番から、委員を指名して順番に回答を読んでもらう。

吉岡 勲

議会基本条例に求めることとして、今こういったいろんな意見が出されている。ご感想等あればお願いします。

大塚州章

確かに条例に求めることであるし、私たちがしたいことって何だろうかということを見問自答しながら、市民のために何ができるだろうか。そういうことも含めて、これが契機だと思えますんで、皆さんで議論して、これを議会としてやろうというようなことで。そのためにやっぱり自分たちで問題がどこにあるのか探さなきゃいけないし、アンテナを張って捉えていかなきゃいけないっていうのもありまして。私の意見としては、もう1回整理して、皆さんで深掘りして、条例に反映できたらなと思いました。

若林純一

先ほど項目②のところ、かなり議論は尽くされたような気はしますが、ただちょっと気になるのは、「実施しないことは記載しない」とか「実現可能な条項のみで構成」とか「守れるものを制定」とかいう、これはちょっと条例を作る上での考え方として、どういうことを言われているのかなってというのが、ちょっと気になりますが。これは今後、議論を深める中で解決していければというような気がします。

戸匹映二

進め方は前回と同じような形で整理しながら、一つ一つ検討して議論していければと思います。

伊藤 淳

現状と課題を深掘りするとき、この「基本条例に求めること」っていうところが、一つの視点になるのかなって思います。

内藤康弘

9番目の「条例が足かせとなり縛られるのではなく」云々っていうのがありますが、まさにこの通りだと思うんですよ。作る上でそういうことにならないよう、ぜひ良いものを作りたいと思います。

梅田徳男

先ほどの課題は条例に反映させて、再チェックする過程でこういうことが整理されていくだろうと思います。

奥田富美子

私も4番の「守れるものを制定する」というのが、とても後ろ向きに捉えられたので、そうならないものにしたいと思います。

匹田 郁

それぞれの条項に、どこにどうというのが当てはまっていくのかとか、今からそういう整理もあるし、それから、それに対する課題というのをどう整備していくのか、しっかり考えていけば、臼杵市議会らしい条例ができるんじゃないかと思います。

吉岡 勲

基本条例は議会としての最高機関であり、あくまでも私たちが守っていき、実現したい項目だと思っております。ですから、やはり皆さん一緒になって深掘りしながら、共通認識を持ちながら作っていきたい。作るのは簡単だと思ったんですけど、逆にこうやって深掘りしていくと、本当にこういうのが必要なのか、市民のためにいいのものを作っていかないと。真剣考えていくと大変な作業だということを感じております。

先ほど言われた、実現可能な条項のみで構成。これはできる事だけすればいいのか、それかやはり目標や目的、最高規範としてこれを目指すというところも必要であると思っております。そういったところは各条項の中で努力するとか、最後に言葉で目的だったり、実現可能な条項になって来るだろうと思います。そこの言葉の最後のところで、しっかり皆さんと協議していきたいと思います。

戸匹映二

その通りだと思います。みんなの意見をしっかり見ながら、十分な議論をするのが一番いいのかなと思います。

大塚州章。

これもまた1回整理をして、皆さん深掘りしやすいように整理をさせてもらってよろしいですかね。

(「はい」 の声)

大塚州章

ではそうさせていただきます。

吉岡 勲

最後に自由意見がありますが、これも参考になるかと思えます。

・資料の1番から、委員を指名して順番に回答を読んでもらう。

吉岡 勲

いろんな意見が出ておりますが、私も12番を少し考えさせていただいて。今前

文を奥田議員と梅田議員に作っていただき、そういう形もとりながら取り組んでいったらどうかという考え方もありますが、どうでしょうか。

若林純一

今日の段階では、その共通の方向性っていう感じで、何ら異論はないんですけど。だんだん煮詰まってくると、そこまで書くかとか、書けとか、そういうところに行くんだと思うんで、そこに早く行かないといけないと思います。

先ほど委員長が言われたように、そういう絞り込みの作業はどんどんやっていただいて、最後はやっぱり対立点、考え方の違いのところでも真剣に議論ができるような、そこまで早くスピード感を持ってお願いしたいなというふうに思います。

戸匹映二

どんどん議論が深まってくると、やっぱり個々の個人で考え方も皆さん違うと思います。その個人の意見の集約、吸い上げの仕方っていうのをしっかり考えておかないと、例えば今の状態ですと、委員が委員会の内容を持ち帰って、会派に説明してという形で、まず会派で意見を吸い上げるという形だと思うんですけど。やっぱり会議の中でなかなか言いにくい意見もあるかもしれないし、個人で私はそこで1人だけ意見が違ふとかいうのも出てくると思うんで。その辺のなんか上手いやり方、これが12番がいいのかどうか分からないんですけど。全員がやっぱりこういう意見が出せる形がいいのかな。どういうやり方がいいのか私は分からないんですけど、そこも検討していったらいいと思います。

伊藤 淳

とにかくもう活発な議論を深めていけばいいんじゃないかなというふうに思います、その機会もたくさんあるといいなと思います。

内藤康弘

私も同様です。

梅田徳男

課題の整理をまずやらないといけないですし、整理の中で項数が足りないんだったら、そういう対応をすればいいと思いますし、全体の流れの中で必要に応じて作業部会も必要かもしれませんし、そういう整理をしていけばいいんじゃないかと。必要なときには集中して委員会を開く形で、細かな対応ができるよう、そういう配慮をお願いしたいと思います。

奥田富美子

議会の改革に対する、そもそもの大きな考え方として。これまで市民の誰かにお任せでよかった時代から、任せていては駄目で市民も参加しないといけないという意識が、若い人にはだんだん根付いていると思うんですが、それでも市民から見ると議会は何か遠いところで、誰にどう言ったら自分の意見が通るのかとかいうことが、素朴に分らないみたいなことを聞きますし。

今、多様性という言葉もありますが日本は0歳から100歳まであらゆる年代の人が生きてという、日本の歴史の中では初めてのことです。長寿社会になって、でも子供は少なくてという、そのバランスも悪いし。男女が半分ずついるのに、意見ができる、決定のできる場所にいる女性は圧倒的に少ないし。女性のかかえる課題も変わらずあって、とても議会に出るのは難しいなというふうに個人的に感じていて。

だからそういう人たちの意見は、どんなふうに反映するかというようなことも、何か今の社会の現状を、皆さんそれぞれ地域社会で感じているところがあるかと思うんですが、俯瞰的に見るという視点も、やっぱり必要なのかなというふうに思っていただけの人が増えるといいなと、いろいろ聞いていて思った次第です。

匹田 郁

とにかく、今日は全体の皆さんの意見が出てきたので。次から、できるだけ深掘りをして、スピード感をもって対応をしていただけたらいいかなと思います。

大塚州章

皆さんのご意見をお伺いさせていただいて、もっともだと思いました。これからは深掘りを、時間をかけて議論をして、その中で譲れるところ、譲れないところといろいろあると思います。でもそれは、また考え方が違っていいと思いますし、その中で合意形成するところをどうするかというのを、議論をしていければいいかなと思います。

吉岡 勲

自由意見の中には、大変いろいろと問題を抱えるような項目があるかと思いますが、やはり条例自体の性格をしっかりと、この前の議員ゼミで法務の勉強をしたと思うんですが、途中で先生を呼んで、また話を聞いてもいいかとは思っております。

今皆さん条例に対する考え方、議会に対する考え方、議員としての立ち位置等いろんなことを考えながら、条例を作っていくほうがいいのかと思っております。

大塚州章

さっき戸匹委員が言われましたように、全議員に周知という話で。資料を状差しに入れるか、会派から渡すか。

戸匹映二

これからどんどん議論がすすむと、サイクルも早くなる可能性があるんで、状差しに入れてもなかなか見ないので。できるだけ手渡しで。

奥田富美子。

その時の資料が、いつの特別委員会の資料というのがわかるように、日付などどこか端っこに入れていただきたい。

大塚州章

先ほどからの分、整理しますと。

- ①整理して、これから深掘りしていく。
- ②内容としては、議会の課題、議員の課題という形に分けたほうがいい。
- ③それを踏まえて、条文に当てはめてから、前文に入っていこうと。
- ④全議員に資料を渡す、他の人が取り残されないように。

以上4点がありました。あとサイクルを⑤もう少し早くしていく。

資料は日付を事務局にお願いしたいと思います。

吉岡 勲

次の日程があるんですけども。2週間後の20日か、24日ゼミの後でどうでしょうか。

奥田富美子

作業的に大丈夫ですか。

書記（高橋）

決算委員会のときに、日程を提案させていただいて、調整をお願いしたい。

吉岡 勲

進め方や作業の仕方に何かありましたらまたお知らせください。

奥田富美子

次の日程しか決められない状況ですけど、例えば今年もう1回開催するとかいうのも合わせて、少し先まで考えてはどうでしょう。

吉岡 勲

定例会中の開催も考えて、決算委員会のときに調整したいと思います。

若林純一

前回までの委員会の中で、基本的に条文の案が提案されていて、皆さん目を通して、修正すべき箇所まで考えているという経過も踏まえて、ある程度、正副委員長でたたき台まで作って、提案していただいたほうが、議論が早く進むかなど。もう全国的に、ほぼ同じような方向性の条例がたくさんできていて、部分的には違うところがあって、それは各市の事情とか、議会の考え方とかっていうところになるので、多分そこが正に論点になってくると思うんです。

ですから前回までに一応、条例案が提案されていることを踏まえて、今日のアンケートも概ね皆さん同じ方向の答え、意識でありますので、もう条例を作るな、要らないとかいう話じゃなくて、やっぱり作る。条文としてどこまで盛り込むのかというところまで、もうどんどんいける気はします。行くか行かないかも含めて、正副委員長のほうで進めて提案していただいて、それに対して議論するという形のほうが、スピード感が出るのかなど。

吉岡 勲

そういう方向でいきたいと心持ちでおりましたので、ありがとうございます。

大塚州章

先ほど自由意見で作業部会という話があったんですけど。そうじゃなくて現時点では、こちらのほうでたたき台を作って、そこから展開して皆さんで議論を深めてもらうという手法でよろしいですかね。

若林純一

提案していただいて、条文について非常に議論を深める必要があるといった時には、その部分については小グループで何度もやってくださいという形でもいいとは思いますが。

吉岡 勲

そういった形で、部会については臨機応変に。深掘りしたいところなどがあれば、構成を見ながら。要するにスピード感をもって行きたいということで、よろしくお願ひします。

他になれば、以上で第4回特別委員会を終了いたします。お疲れ様でした

午前11時09分 閉会

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和2年11月6日

臼杵市議会
基本条例検討特別委員会
委員長 吉岡 勲